

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

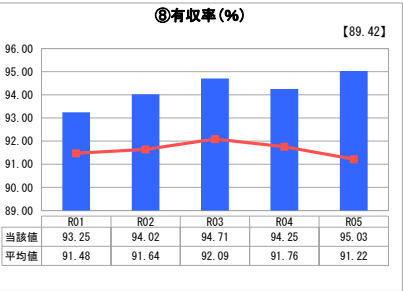
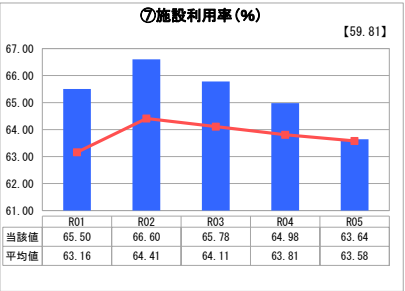
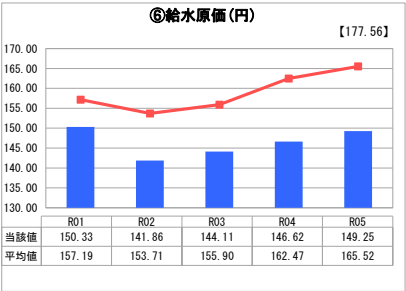
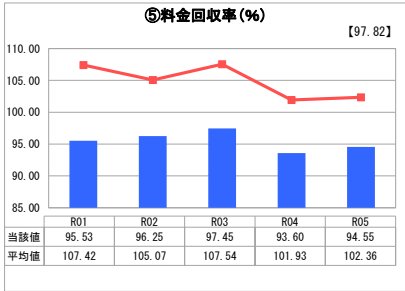
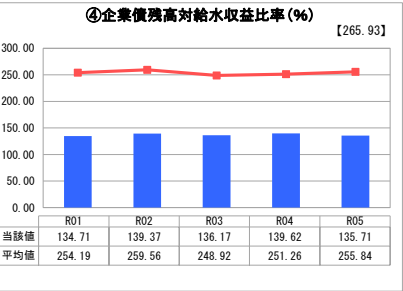
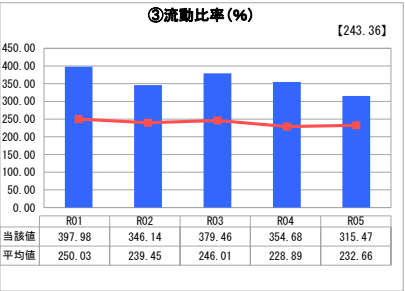
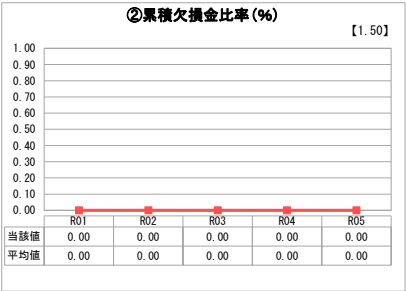
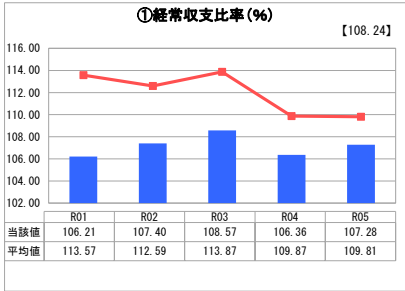
埼玉県 川越市

| 業務名       | 業種名         | 事業名    | 類似団体区分                         | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------------------------------|--------|
| 法適用       | 水道事業        | 末端給水事業 | A1                             | 自治体職員  |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円) |        |
| -         | 80.28       | 99.98  | 2,145                          |        |

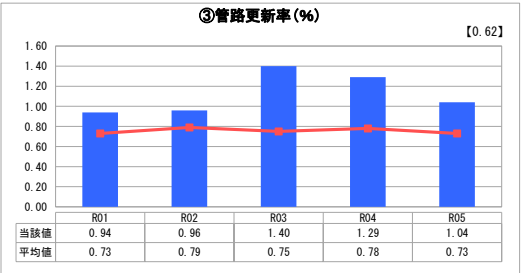
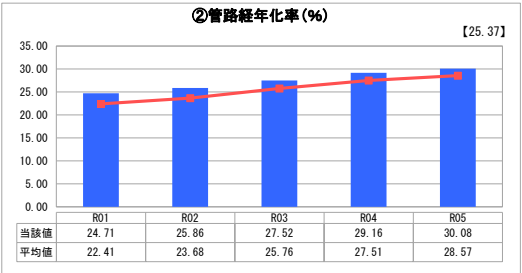
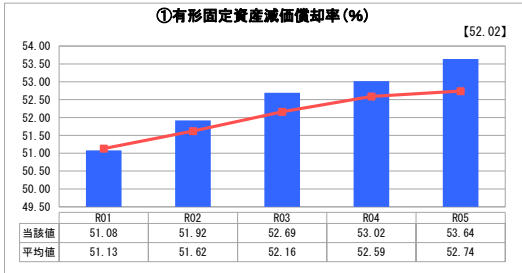
| 人口(人)     | 面積(km <sup>2</sup> )     | 人口密度(人/km <sup>2</sup> )   |
|-----------|--------------------------|----------------------------|
| 352,717   | 109.13                   | 3,232.08                   |
| 現在給水人口(人) | 給水区域面積(km <sup>2</sup> ) | 給水人口密度(人/km <sup>2</sup> ) |
| 352,781   | 109.13                   | 3,232.67                   |

| グラフ凡例          |
|----------------|
| ■ 当該団体値（当該値）   |
| — 類似団体平均値（平均値） |
| 【】 令和5年度全国平均   |

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率  
100%以上で推移しており黒字ではあるものの、類似団体と比較するとやや低い傾向にあります。人口減少に伴う給水収益の減少や老朽管の更新に伴う減価償却費の増加等が見込まれるため、引き続き収支バランスを注視し、経営環境の変化に応じた対策が必要です。

③流動比率  
類似団体より高い水準を維持しており、短期的な支払い能力を確保できています。

④企業債残高対給水収益比率  
類似団体より低い水準で推移していますが、今後、更新事業の財源として企業債が必要となるため、世代間負担を考慮した適正な水準について検討が必要です。

⑤料金回収率  
100%を下回る状況が続いており、料金収入で給水費用を賄えていない状況が続いています。今後想定している施設の維持や修繕等に要する費用を踏まえた適正な料金水準を確保する必要があります。

⑥給水原価  
類似団体より低い水準にありますが、R2以降は物価上昇等により増加傾向となっており、今後、費用の約4割を占める県水受水費の改定も予定されていることから、給水原価の更なる上昇が見込まれます。

⑦施設利用率  
類似団体を若干上回る数値で推移しています。今後は人口減少や社会情勢の動向を注視しつつ、適正な施設規模のあり方について検討が必要です。

⑧有収率  
類似団体と比較して、高い数値で安定しています。定期的な漏水調査や老朽管の更新による効果であると考えられることから、今後もそれを計画的に行い、有収率の維持に努める必要があります。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率  
類似団体を上回る水準で推移しており、施設の老朽化が進行しています。計画的、効果的に償却対象資産の更新を行う必要があります。

②管路経年化率  
類似団体より若干高い水準で推移しています。今後も老朽化の進行が見込まれるため、計画的に更新工事を実施する必要があります。

③管路更新率  
類似団体より高い水準で管路更新を実施していますが、今後も老朽化の進行が見込まれるため、市の基準に基づき計画的な更新を継続していく必要があります。

### 全体総括

経営の健全性・効率性については、料金回収率の改善が継続的な課題となっています。また、施設の老朽化が進行しており、今後も適切な維持管理に取り組む必要があります。

一方で、今後は人口減少に伴い給水収益が減少する中で、基幹管路の耐震化や老朽管の更新などに多額の費用が必要になるなど、事業を取り巻く環境は厳しさを増していくものと想定されます。

以上の状況を踏まえ、令和6年度に「川越市上下水道事業経営戦略」の見直しに取り組んでおり、その中で施設の更新需要や物価変動などの社会情勢、将来的な水需要などを中長期的な視点で反映した実効性のある投資・財政計画を策定し、将来にわたって安定した事業運営を図る必要があります。